



9月1日(日) 総合

テーマ「『自助・共助』と地域の連携」

羽村市メール配信サービスに登録しよう

携帯端末やパソコンに、緊急かつ特別な情報をお知らせするサービスです。

登録は無料ですが、メールの受信にかかる通信料（パケット通信料）は登録者の負担となります。

携帯端末からの登録手順

(1) メールを送る

方法① 宛先に hamura@entry-mail-dpt.jp を入力し空メール（タイトル・本文未記入）を送信する。

方法② 右のQRコードを読み取り、新規メール作成画面から空メールを送信する。



(2) 本登録用URLをクリック

メール送信後すぐに返信される「仮登録受付メール」の本文内にあるURLをクリックし、30分以内に本登録を行う。

(3) 受信を希望する項目をチェック

サイトポリシーを確認・同意した後に、受信したい情報（カテゴリ）を選んで登録する。

(4) 登録完了

登録完了メールが届けば手続き終了。

※迷惑メール対策をしている場合は、登録前に、次のアドレスからのメールを受信できるように設定してください。

✉ mail@city.hamura.tokyo.jp

問合せ 広報広聴課広報係

内 339



ペットを守れるのは飼い主です！

平常時から、災害に備えてペットの健康管理・身元表示をしっかり行い、防災用品を用意しておきましょう。また、ペットと一緒に避難（同行避難）する避難所などを確認しましょう。

さまざまな人が共同生活を送る避難所ではルールがあります。避難所の責任者の指示に従い、決められた場所で飼い主さんが責任を持って、ペットを管理しなければなりません。

このようないい訓練に毎年参加し、繰り返すことで行動を覚え、自分自身の防災行動力や、家族や近所の人との助け合いの防災意識を高めましょう。

⑤外出先から帰れないことも災害時の混乱を防止するため、むやみに移動を開始せず、職場や外出先に一定期間待機しましょう。

また、安全確保後も交通機関

の混乱などから、徒歩による帰宅も想定されます。このような事態に備え、普段から歩いて帰宅する経路を確認しておきましょう。また、災害用伝言ダイヤル（☎ 171）や、携帯電話「災害用伝言板」の利用方法、家族や親戚などへの連絡手段を家族で話し合っておきましょう。

問合せ 防災安全課防災・危機管理係内 207

防災訓練に参加しよう！

自分や家族、地域にくらすみんなのために！

防災訓練に参加しよう！ いざという時の自分や家族のために

今年のメイン会場 松林小学校

今年は、松林小学校をメイン会場として、市内全域の避難所（各小・中学校）10会場で行います。

防災訓練に参加しよう！

9月1日(日) 午前9時発災
メイン会場 松林小学校

荒天の場合は中止とし、午前7時に防災行政無線および羽村市メール配信サービスでお知らせします。

- 備蓄物資、防災グッズなどの展示ブースの設置
- 防災訓練前日に、自主防災組織などによる避難所生活体験訓練（宿泊訓練）を実施

午前9時までに緊急地震速報を放送します

午前9時までに、全国瞬時警報システム（Jアラート）を活用し、緊急地震速報（訓練放送）を放送します。

その後、午前9時に震度6強の大地震が発生したと想定し、サイレンを鳴らします。

緊急速報メールを送信します

午前9時の発災以降に、市内にいる携帯電話・スマートフォン利用者へ緊急速報メールを送信します（NTTドコモ・au・ソフトバンク）。

緊急速報メールとは、登録の有無に関わらず、その時点で羽

訓練は次のように進めよう

①まずわが身の安全

地震が起きたら、まずシェイクアウト（※）を行いましょう。丈夫なテーブルの下にもぐるなど「わが身」を守る行動が大切です。

②(1)姿勢を低くする
③(2)頭・体を守る
④(3)揺れが収まるまでじっとする

※シェイクアウトとは

④自主防災組織の訓練に参加

各町内会・自治会の自主防災組織では、避難途中での災害に 対応する訓練をはじめ、応急救助訓練や初期消火訓練、また、災害時に支援をする方（避難行動要支援者）への対応などの訓練を行います。

村内にいる方に対して一斉にメールを送信するサービスです。

※緊急速報メールの対応機種や受信の設定方法は、利用している携帯電話会社の窓口やウェブサイトで確認してください。

という3つの行動をとることです。シンプルですが非常に重要な行動です。子どもから大人まで誰でもできる基本的な安全行動とされています。

②火の始末

身の安全を確保したら次は火の始末です。電気を切り、ガス栓などを閉めて、火を出さないための訓練をしてください。

